

CELL WARMING メニューの説明



Cell Warming 機能を使うにはオプションの温度検出ボードと 12V で動作可能な熱源（タイヤウォーマなど）が必要です

Cell Warming を使うとバッテリーパックを 10 度～70 度の範囲まで加熱することができます。適切にバッテリーを加熱したあと充電をおこなうと放電効率をあげることができます。

次のように温度検出モジュールと熱源（ここではタイヤウォーマとします）を接続します。

プロトラックと 12V 安定化電源を接続します

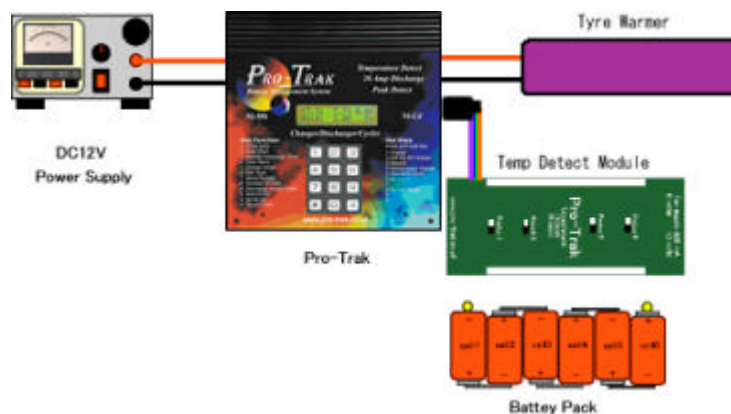
次に 12V 安定化電源のスイッチを入れます

タイヤウォーマを本体右側のケーブルに接続します

温度検出モジュールを接続します

加熱したいバッテリーパックを温度検出モジュールの上に置きます

タイヤウォーマをバッテリーに巻きます（温度検出モジュールとバッテリーパックが離れないよう注意）



SETUP メニューの「Warming Cutoff」で加熱を停止する温度を設定します

メインメニューの「CELL WARMING」を選択します。次のような表示に切り替わります。設定温度に達するとタイヤウォーマへの通電が停止します。温度が下がると再び通電されます。

